

## あさか開成高等学校オーストラリア海外研修 8 日目 (7/22)

本日は一日、Currumbin Wildlife Sanctuary (カランビンワイルドライフサンクチュアリー) で過ごしました。学校からは一時間ほどの距離ですが、本日は日曜日と言うことでいつもより車が少なく予定より早く到着しました。

入場早々コアラを見つけ、皆早速カメラや携帯を手に写真を撮り始めました。このサンクチュアリーではコアラに触ることができるほど近くに行くことができます。全員で記念写真を撮ることになったのですが、代表者 3 名がコアラを抱けると言うことで希望者を募りました。オーストラリアにいないとできない経験ということで、抱けることになった 3 名は大興奮。スタッフから抱き方を教わり、そっとコアラを渡されると周りの生徒もそのかわいらしさにくぎ付けになりました。他の生徒もコアラの背中を撫でることは許可され、一人一人そっと背中に触ってからその場を後にしました。

次はオーストラリアのもう一つの主役であるカンガルーです。自由に放されているエリアで一緒に写真を撮ったり、餌をあげたりして楽しみました。

午前中の最後にはバードショーを観覧しました。日本では見たことの無い様々な鳥が頭上ぎりぎりを四方八方から飛び交い、歓声や驚きの声が上がりました。

その後、昼食を取り、施設内にある動物病院の見学をしました。ちょうどコアラの赤ちゃんの手術が行われているところを外から見ることができ、興味がある生徒はしばらくその場から離れずに見ていました。

今までアクティビティの時間は割と慌ただしく過ぎることが多かったのですが、今日は一日この施設で過ごすので、自由時間を 2 時間ほど取ることができました。お土産を友達と一緒に見て回ったり、カフェに行ってオーダーしたりと今までになくゆったりとした時間となりました。

最後にオーストラリアの先住民アボリジニのダンスショーを見に行きました。顔や体にペイントを施し、掛け声をかけながら踊る姿は迫力があり、最初は当惑気味だった生徒も徐々に引き込まれていきました。煙をたかれた会場で独特のリズムを踏み、声を上げる姿を間近で見ること、オーストラリアにとって特別な歴史や文化に触れた時間でした。

今日、毎日一緒に過ごしている Lisa が改めて生徒たちの成長について話していました。到着直後は話しかけてもリアクションが無く一言も返せない生徒も多かったのに、今は自分の言うことを理解し、きちんと反応するようになったと言うのです。もしかしたら生徒自身も気づいていないかもしれませんが、確実に英語力やコミュニケーション力は上がっています。ランチの時に当然のようにリンゴを丸かじりする姿を見て、一週間前とは比べ物にならないほど遅くなったことに気づかされました。



サンクチュアリーの説明



コアラと記念撮影



施設内を散策



カンガルーと写真を撮る生徒たち



ランチタイム



アボリジニーダンスショー